

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	前立腺癌に対する重粒子線治療計画における2門照射法の確立
	研究目的	重粒子線治療は前立腺癌の根治的治療方法のひとつです。当院での過去の研究でも、前立腺癌に対する重粒子線治療の有用性が示されています。これまで国内では重要な臓器である直腸を温存するため2つの治療計画を用いて治療を実施してきましたが、当院で導入された重粒子線治療装置では技術的に1つの治療計画でも温存が可能と考えられていました。そこで本研究では、実際に2つの治療計画で治療を行なった場合と1つの治療計画で行なった場合の線量分布(放射線がどの臓器にどれだけ投与されているかを示す指標)を比較し、十分な治療効果を保ちつつ安全に治療が行えるかを評価しました。
	研究対象者	当院で2015年12月から2016年2月までに重粒子線治療を実施した前立腺癌の患者さん10名を対象とします。
	研究期間	西暦 2023 年 2 月 13 日 ~ 西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(放射線治療計画データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 <input type="checkbox"/>	
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	高草木 陽介
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	とくに共同研究機関はありません。
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 放射線治療科 高草木陽介	